

道徳だより

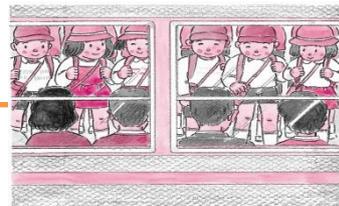
令和2年11月

～夢と笑顔と「ありがとう」があふれる上里東小学校～

寒さがひとしお身にしみることになりました。先日の持久走大会では、子供たちが自分の目標に向かって、一生懸命に走る姿を見ることができました。走り終わった子供たちの顔は、疲れを感じながらも、最後まで走り切った満足感や達成感が感じられました。

道徳だより11月号では、2年生の授業の感想をまとめましたので、御家族でお話のあらすじと同じ場面を思い浮かべながら、読んでいただければと思います。

<2年生の授業より>



「おじさんからの手紙」～まわりの人のことを考えて～「規則の尊重」

★公共の乗り物での約束やきまりを守ることが周りの人をととてもいい気持ちにすることに気づき、自分やみんなが気持ちよく生活できるように約束やきまりを守ろうとする態度を養いました。

●お話の内容●

2年生のみんなに届いたおじさんからの手紙文である。人は、他人との関わりの中で生きていることに気付かせる内容であり、次のような物語である。「遠足で電車に乗り込んできた子供たちを見て、おじさんは『いやだな。』と思う。しかし、子供たちは揺れる電車の中でも声を立てず足を踏ん張っている。

おじさんは、子どもたちの姿に初めの自分の気持ちを恥ずかしく思う。おじさんは下車する子供たちを笑顔で見送る。後日、おじさんからの手紙が子供たちのもつに届く。

●手紙●

先日、電車に乗っていると、皆さん小学生が乗ってきました。考え事をしていた私は、「ああ、いやだな。うるさくなるぞ。」と思いました。子どもたちは電車で大はしゃぎするからです。しかし、皆さんはおしゃべりをしません。突然揺れてもしゃべらずに、じっと立っていて、ニコニコしています。私は、「いやだな。」と思った自分が恥ずかしくなりました。私はその日、1日ゆかいでした。

教師:「おじさんからの手紙を読んだあと、子供たちはどんなことを思ったでしょう。」

児童:「他の人の気持ちまで考えている子供たちだな。」

「ルールを守ってえらいな。」

「立派な子供たちだな。」

「静かにして、気持ちがいいな。」

「約束守ってすごいな。」

★でも・・・「規則」とは何だろう？ルールとマナー、どちらがうのかな？

- ・マナーを守ろうとする心は、見ている人に伝わる。
- ・正しいマナーは、場所によって異なる。
- ・いつ、どこで、だれに迷惑をかけるかわからないので、いつも気にしておく。

教師:「おじさんからの手紙を読んだあと、子供たちはどう思ったでしょう。」

児童:「ほめてもらってうれしいな。」

「約束をまもってよかった。」

「これからも、ルールを守りたいな。」

「もしかして、自分は周りの人に迷惑かけていたかもしれない。」

「うれしい。」



★「規則」は、きまり、ルール、マナーなどとも言い換えられます。

子供も大人も、電車ではしゃべることは禁止されていません。むしろ子供がしゃべっている楽しそうな雰囲気を見て、ほほえましく思う人もいます。

<学び>おじさんの手紙を読んだ子供たちの思いを自分ごととして深く考えることができました。また、みんなが気持ちよく生活するために気をつけてきたことや、これから気をつけたいことを発表しました。